



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月2日

上場会社名 クボテック株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7709 URL <https://www.kubotek.com/>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 久保哲夫  
 問合せ先責任者(役職名) 管理部長 (氏名) 記虎政史 (TEL) 06-6443-1815  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	535	165.0	37	—	35	—	34	—
2024年3月期第1四半期	202	△45.2	△77	—	△77	—	△80	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 19百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 △79百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	2.48	—
2024年3月期第1四半期	△5.87	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	1,934	454	23.5	33.00
2024年3月期	2,353	435	18.5	31.62

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 454百万円 2024年3月期 435百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	640	41.8	△190	—	△195	—	△200	—	△14.53
通期	1,600	22.5	△160	—	△165	—	△185	—	△13.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付書類8ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	13,830,000株	2024年3月期	13,830,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	62,161株	2024年3月期	62,161株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	13,767,839株	2024年3月期1Q	13,767,840株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	2
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進展すると共に、企業収益や個人消費の持ち直しが見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら円安を背景とした原材料等の物価上昇や、不安定な国際情勢が長期化し海外景気の下振れリスクなど先行きは不透明な状況にあります。フラットパネルディスプレイ（FPD）の分野におきましては、中国経済の減速でメーカーの生産調整などによって、依然厳しい事業環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは販売拡大に向けた開発及び営業活動を展開してまいりました。画像処理外観検査装置は、長納期化による生産面の制約があるもののこれまでの受注実績を着実に売上に繋げることで堅調に推移しました。一方で3Dソリューションシステム製品は、新規顧客の開拓に努めましたが売上は横這いで低調な状況が続きました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高535百万円（前年同四半期比165.0%増）、営業利益37百万円（前年同四半期は営業損失77百万円）、経常利益35百万円（前年同四半期は経常損失77百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は34百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失80百万円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の売上は主に中国向けで増加しました。この結果、売上高は405百万円（前年同四半期比421.0%増）、セグメント利益は37百万円（前年同四半期はセグメント損失96百万円）となりました。

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト等の売上は現地通貨ベースではやや減少し、微増にとどまりました。この結果、売上高は130百万円（前年同四半期比4.7%増）、セグメント損失は27百万円（前年同四半期はセグメント損失2百万円）となりました。

### (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ419百万円減少しました。流動資産は現金及び預金の減少418百万円、売上債権の増加126百万円、棚卸資産の減少72百万円などにより、418百万円減少しました。固定資産はほぼ変動がありませんでした。

負債は、前連結会計年度末に比べ438百万円減少しました。流動負債は仕入債務の増加30百万円、短期借入金の減少250百万円、契約負債の減少187百万円などにより、434百万円減少しました。固定負債はほぼ変動がありませんでした。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益34百万円の計上、為替換算調整勘定の減少15百万円により、純資産合計が19百万円増加しました。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで6期連続して営業損失を計上し、また2023年3月期において営業キャッシュ・フローがマイナスとなりました。特定の市場・顧客の設備投資及び顧客からの受注動向によって業績の変動が避けられず、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が前連結会計年度末に存在しておりました。当第1四半期連結累計期間においては営業利益37百万円を計上することができましたが、業績回復の状況を慎重に見極める必要があり、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当該状況を解消するため主に日本セグメントの画像処理外観検査装置と、米国セグメントの3Dソリューションシステム製品の販売拡大に取り組んでまいります。また社内に立ち上げた複数のプロジェクトチームにおいて、各事業を横断する戦略的な製品開発を推進してまいります。

画像処理外観検査装置においては新規市場を開拓し、付加価値の高い案件での受注獲得を図ります。また画像処理型検査エンジンなど積極的な製品開発と営業展開によって顧客の拡大に努めてまいります。

3Dソリューションシステムにおいては、自社開発したカーネルを採用した各種ソフトウェア製品の販売拡大と、それに加えて当社製カーネルを搭載することで顧客の持つ製品のパフォーマンスが従来より格段に向上する3Dカーネルの販売を推進します。

さらに新規事業として、オーディオ事業では米国市場において製品を上市し販売態勢を整え、今後収益獲得に貢献できるよう事業展開を進めます。これら施策によってグループの収益力向上と財務体質強化を図り、安定した経営基盤を築いてまいります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月15日発表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,158,415	739,906
受取手形、売掛金及び契約資産	182,353	312,184
電子記録債権	3,518	-
商品及び製品	13,339	14,371
仕掛品	579,534	505,393
原材料及び貯蔵品	52,876	53,654
その他	87,335	34,358
貸倒引当金	△10,742	△12,135
流動資産合計	2,066,631	1,647,733
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	4	9,363
有形固定資産合計	4	9,363
無形固定資産		
ソフトウェア	255,274	253,824
その他	0	0
無形固定資産合計	255,274	253,824
投資その他の資産		
その他	32,180	23,355
貸倒引当金	△173	△173
投資その他の資産合計	32,007	23,182
固定資産合計	287,286	286,370
資産合計	2,353,918	1,934,103
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,575	129,825
短期借入金	338,656	88,656
未払法人税等	12,696	6,038
契約負債	1,116,073	928,112
賞与引当金	5,260	3,142
その他	139,022	120,964
流動負債合計	1,711,283	1,276,739
固定負債		
長期借入金	145,428	141,264
契約負債	11,036	12,694
退職給付に係る負債	20,182	20,013
その他	30,685	29,042
固定負債合計	207,333	203,014
負債合計	1,918,616	1,479,754

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	△1,393,855	△1,359,645
自己株式	△81,717	△81,717
株主資本合計	476,176	510,386
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△40,874	△56,037
その他の包括利益累計額合計	△40,874	△56,037
純資産合計	435,301	454,349
負債純資産合計	2,353,918	1,934,103

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	202,159	535,623
売上原価	125,483	298,165
売上総利益	76,675	237,457
販売費及び一般管理費	154,096	199,958
営業利益又は営業損失(△)	△77,420	37,499
営業外収益		
受取利息	4	7
為替差益	927	-
還付消費税等	-	40
その他	-	0
営業外収益合計	932	48
営業外費用		
支払利息	734	1,129
為替差損	-	444
その他	157	157
営業外費用合計	892	1,732
経常利益又は経常損失(△)	△77,380	35,815
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△77,380	35,815
法人税等	3,470	1,604
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△80,851	34,210
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△80,851	34,210



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△80,851	34,210
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,474	△15,162
その他の包括利益合計	1,474	△15,162
四半期包括利益	△79,376	19,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79,376	19,048
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度まで6期連続して営業損失を計上し、また2023年3月期において営業キャッシュ・フローがマイナスとなりました。特定の市場・顧客の設備投資及び顧客からの受注動向によって業績の変動が避けられず、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が前連結会計年度末に存在しております。当第1四半期連結累計期間においては営業利益37百万円を計上することができましたが、業績回復の状況を慎重に見極める必要があり、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループといたしましては、当該状況を解消するため主に日本セグメントの画像処理外観検査装置と、米国セグメントの3Dソリューションシステム製品の販売拡大に取り組んでまいります。また社内に立ち上げた複数のプロジェクトチームにおいて、各事業を横断する戦略的な製品開発を推進してまいります。

画像処理外観検査装置においては新規市場を開拓し、付加価値の高い案件での受注獲得を図ります。また画像処理型検査エンジンなど積極的な製品開発と営業展開によって顧客の拡大に努めてまいります。

3Dソリューションシステムにおいては、自社開発したカーネルを採用した各種ソフトウェア製品の販売拡大と、それに加えて当社製カーネルを搭載することで顧客の持つ製品のパフォーマンスが従来より格段に向上する3Dカーネルの販売を推進します。

さらに新規事業として、オーディオ事業では米国市場において製品を上市し販売態勢を整え、今後収益獲得に貢献できるよう事業展開を進めます。これら施策によってグループの収益力向上と財務体質強化を図り、安定した経営基盤を築いてまいります。

ここ数年は業績の大きな変動を出来るだけ抑え、事業構造の改革と安定した収益拡大に取り組んでまいりました。しかしながら客先の設備投資計画の変動や納期の長期化の影響などで、安定した収益力の回復までにはしばらく時間を要するものと考えられます。また資金調達の状況等によっては今後の当社の資金繰りに重要な影響を及ぼす可能性があることから、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

## (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## (税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	日本	米国	
売上高			
外部顧客への売上高	77,808	124,350	202,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56,568	—	56,568
計	134,377	124,350	258,728
セグメント損失(△)	△96,849	△2,889	△99,739

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失	金額
報告セグメント計	△99,739
セグメント間取引消去	1,739
内部利益の調整額	1,265
貸倒引当金の調整額	19,313
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△77,420

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	日本	米国	
売上高			
外部顧客への売上高	405,379	130,244	535,623
セグメント間の内部売上高 又は振替高	66,737	—	66,737
計	472,116	130,244	602,360
セグメント利益又は損失(△)	37,274	△27,722	9,551

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	9,551
セグメント間取引消去	1,933
内部利益の調整額	5,029
貸倒引当金の調整額	20,984
四半期連結損益計算書の営業利益	37,499

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	43,684	53,110